



議員提出議案第 四 号

第九次道路整備五箇年計画の策定に関する決議書の提出  
について

このことについて、別紙のとおり内閣総理大臣、大蔵大臣、建設大臣、衆議院議長、参議院議長に決議書を提出するものとする。

昭和五十七年六月十七日

提出者	三朝町議会議員	吉	田	公	博
賛成者	三朝町議会議員	岩	本	君	美
賛成者	三朝町議会議員	御	船		積
賛成者	三朝町議会議員	高	天		豊
賛成者	三朝町議会議員	田	栗	公	雄

昭和五拾七年六月拾七日 原案可決

三朝町議会議長名越典由

### 第九次道路整備五箇年計画の策定に関する決議

道路は、経済社会に欠くことのできない社会資本であり、地域住民の日常生活を支える基盤である。

昭和五十七年度を最終年度とする第八次道路整備五箇年計画は、行財政再建計画を先行する政府の方針のもとに完全達成されぬまま終了する見通しとなっている。

地方の時代を迎え、道路の整備充実こそ真の住民生活を営む施策であり、これがひいては財政再建に結びつく鍵であると考えらる。

当地方の道路整備の現況は、満足に交通を確保できる実情になく、また、過疎及び交通事故対策としても道路の整備促進は緊急を要するものである。

従つて、政府におかれては、揮発油税及び自動車重量税等の財源を確実に充たし、昭和五十八年度からの第九次五箇年計画に当たつては、大幅な事業枠の

拡大を図り、我々が熱望する道路整備の推進に十分応えられるよう対処された  
い。

右決議する。

昭和五十七年六月十七日

三朝町議会